

マラリア・ノーモア・ジャパン ゼロマラリア 2030 アップデート 第8号

<特集> グローバルファンドとマラリア

- グローバルファンド 2018 年成果報告書
- グローバルファンドのマラリア撲滅戦略とその実践
- マラリア排除のためのアルテミシニン耐性地域イニシャティブ
- グローバルファンド・アドボケートネットワーク (GFAN) 報告書：
感染症の流行を終わらせるために軌道に戻ろう
- グローバルファンドの第6次増資準備会合
- グローバルファンド (GF) 第6次増資会合までの主なイベント

<ニュース>

- アジア太平洋リーダーズ・マラリア・アライアンス (APLMA)
～鈴木秀生 外務省地球規模課題審議官 (大使) が理事に就任～
- 世界保健機関 (WHO) 西太平洋地域委員会
～葛西健氏が次期地域事務局長に選出～
- G20 アルゼンチン 保健大臣会合

<特集> グローバルファンドとマラリア

詳細はこちら：

<https://www.malarienomore.jp/wp-content/uploads/2018/11/GFとマラリア.pdf>

● **グローバルファンド 2018 年成果報告書**

2018年9月12日に世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (グローバルファンド) は「2018年成果報告」を発表しました。それによると、グローバルファンドのパートナーシップによって2002年～2017年に合計2700万人の生命が救われています。マラリアに関する成果として、1億9700万張の蚊帳の配布や、1億800万人のマラリア感染者の治療があげられています。

● **グローバルファンドのマラリア撲滅戦略とその実践**

2017年10月10日 (火) にホテル・ルポール麴町で開催された「Global Fund、Gavi、GHIT フォンド (GGG) +フォーラム 2017」の第2部「2030年マラリア制圧へ向けた日本の貢献」で、國井修 グローバルファンド戦略・投資・効果局長が登壇されたときの基調講演です。

- **マラリア排除のためのアルテミシニン耐性地域イニシャティブ**

グローバルファンドは「アルテミシニン耐性地域イニシャティブ (RAI)」へ 2014 年～17 年の間に 1 億 1500 万米ドルの資金提供を行いました。RAI は第 2 フェーズ「マラリア排除のためのアルテミシニン耐性地域イニシャティブ (RAI2E)」プログラムとして拡張され、大メコン圏における熱帯熱マラリア排除を加速するためにグローバルファンドは 2018～20 年の 3 年間で 2 億 4300 万米ドルの地域的資金提供を行っています。

- **Global Fund Advocates Network (GFAN) 報告書：**

感染症の流行を終わらせるために軌道に戻ろう

GFAN は、必要資金が全部確保できたグローバルファンドを支援するための世界中の声や努力を一つにするために 2011 年に設立されました。GFAN の報告書「感染症の流行を終わらせるために軌道に戻ろう」では、持続可能な開発目標 (SDGs) に掲げられている、HIV、結核及びマラリアを終わらせるという 2030 年の目標を達成するには国際的な資金拠出を大幅に増加させる必要があるということ呼びかけています。

- **グローバルファンドの第 6 次増資準備会合**

2018 年 9 月 5 日に、インド政府はグローバルファンドの第 6 次増資準備会合の開催を受け入れると発表しました。この発表を行ったインドの Shri Jagat Prakash Nadda 保健・家族福祉省大臣は、インドの長年のグローバルファンドとのパートナーシップを強調しました。インドはグローバルファンドとの連帯を示すために、前回の増資会合でグローバルファンドに 2000 万米ドル拠出しています。

<ニュース>

- **アジア太平洋リーダーズ・マラリア・アライアンス (APLMA)**

～鈴木秀生 外務省地球規模課題審議官 (大使) が理事に就任～

詳細はこちら：

<https://www.malariamore.jp/wp-content/uploads/2018/11/APLMA.pdf>

2018 年 10 月 4～5 日にシンガポールで開催された APLMA 理事会に日本から初めて、APLMA 理事として鈴木秀生・外務省地球規模課題審議官(大使)が参加されました。APLMA からはグローバルヘルスでリーダーシップを発揮し、世界初のマラリア国際会議でも貴重な貢献を行った日本の参加が大歓迎されています。鈴木大使は、日本は人間の安全保障の概念に基づき、マラリア対策を含めた感染症対策や保健システム強化などグローバルヘルスを最優先課題として取り組んできたことや、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の促進とマラリア対策の相互作用を重視して今後の対策を進めていく重要性などを強調さ

れました。

- 世界保健機関（WHO）西太平洋地域委員会
～葛西健氏が次期地域事務局長に選出～

詳細はこちら：

<https://www.malarianomore.jp/wp-content/uploads/2018/11/WHO-WPRO.pdf>

2018年10月8～12日にフィリピンのマニラで第69回WHO西太平洋地域委員会が開催されました。会合2日目の9日に、次期地域事務局長を選出する選挙が行われ、現在同地域事務局長事務統括部長兼次長の葛西健氏が選出されました。

- G20 アルゼンチン 保健大臣会合

詳細はこちら：

<https://www.malarianomore.jp/wp-content/uploads/2018/11/G20-Health.pdf>

G20保健大臣会合が2018年10月4日にアルゼンチンのマル・デル・プラタで開催され、宣言文が発表されました。この宣言文では、持続可能な開発のための2030アジェンダを進めることに貢献するというコミットメントを再確認するとともに、保健に関連する全ての持続可能な開発目標（SDGs）を2030年までに達成するための行動計画をWHOとそのすべての関連パートナーと一緒に策定することを奨励しています。

★=====★

発信元：認定NPO法人 マラリア・ノーモア・ジャパン（MNMJ）

Copyright(C) Malaria No More Japan

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7-4 秩父屋ビル8F

Tel: 03-3230-2553 Fax: 03-5275-2020

Web URL: <https://www.malarianomore.jp/>

Facebook: Malaria No More Japan

★=====★

過去のメルマガは[こちら](#)

本メールマガジンは、メールマガジンに登録された方及び名刺を交換した方々などにお送りしています。万が一重複している場合や配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

advocacy@malarianomore.jp